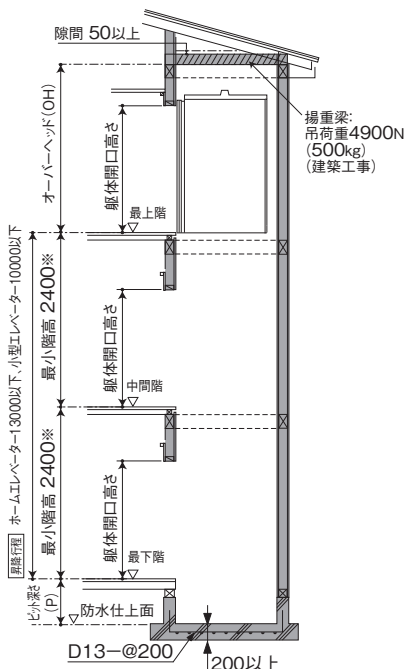


# ロープ式

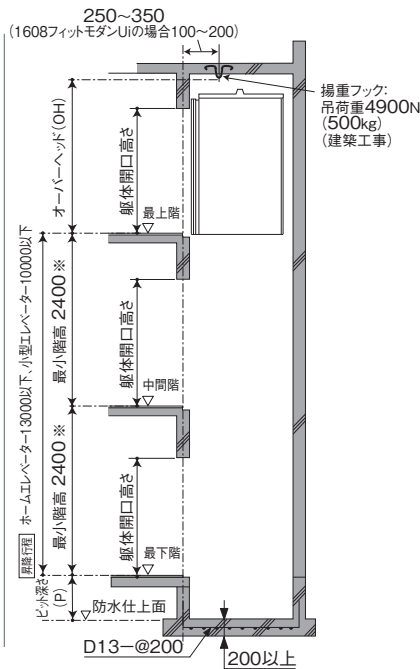
小型エレベーターXLウェルハートUi / 小型エレベーターウェルハートUi / 小型エレベーターXLミディモダンUi / 小型エレベーターXLワイドUi

## 木造住宅の場合



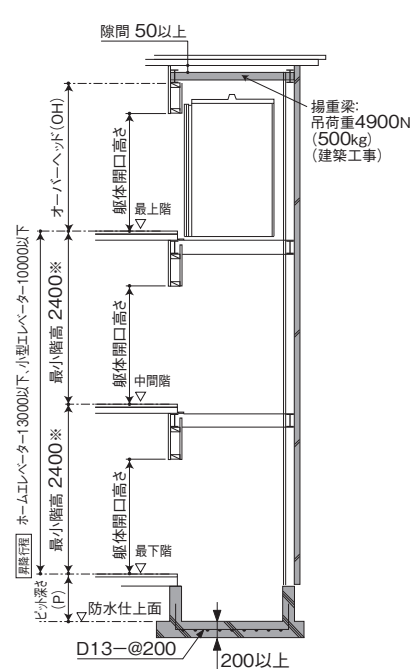
ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)  
 ※ホームエレベーター:停止階の階間が9600mm超の場合は、地震時管制運転の規定により中間階にエレベーター非常着床用出入口の設置が必要になります。  
 小型エレベーター:停止箇所が2停止の場合、地震時管制運転の規定により昇降行程は9600mm以下となります。

## コンクリート住宅の場合



ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)  
 ※ホームエレベーター:停止階の階間が9600mm超の場合は、地震時管制運転の規定により中間階にエレベーター非常着床用出入口の設置が必要になります。  
 小型エレベーター:停止箇所が2停止の場合、地震時管制運転の規定により昇降行程は9600mm以下となります。

## 鉄骨住宅の場合



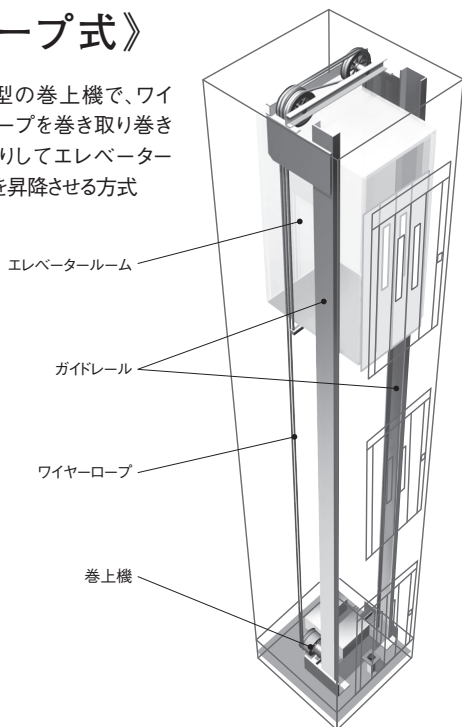
ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)  
 ※ホームエレベーター:停止階の階間が9600mm超の場合は、地震時管制運転の規定により中間階にエレベーター非常着床用出入口の設置が必要になります。  
 小型エレベーター:停止箇所が2停止の場合、地震時管制運転の規定により昇降行程は9600mm以下となります。

■ビット深さ(P)とオーバーヘッド(OH) (mm)

昇降行程	P	OH
ホームエレベーター 13000以下 小型エレベーター 10000以下	550~900	2400以上

## 《ロープ式》

ドラム型の巻上機で、ワイヤーロープを巻き取り巻き戻したりしてエレベータールームを昇降させる方式



### ご注意事項

- この商品は屋内専用です。雨、風のあたる場所や屋外には設置しないでください。
- 電気製品ですので、表面に結露を生じるような湿気が多い場所に設置しないでください。
- ビット内に漏水などがないように、防水仕上げを施してください。この場合、防水仕上げ後の有効寸法で昇降路寸法を確保してください。
- 昇降路内にはエレベーターに使用する電源線、電話線以外に他の電線、配管などを設けることはできません。(建築基準法施行令第129条の2の4)従いまして、既存住宅の基礎に通風孔、点検口等の穴が残っているような場合は、上記法律に基づき不可となりますので、確実に埋めていただくようお願いします。
- 昇降路は、人または物が昇降路内の機器に触れないよう、ビット内や天井裏も含めてすき間のない構造としてください。(建築基準法施行令第129条の7による)
- 建物構造、階高などによって納まり寸法が異なる場合があります。エレベーターの設計につきましては、当社にご相談ください。
- 昇降路の壁の強度について  
 任意の5cm<sup>2</sup>の面に、これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において、次のイ及びロに適合するものであること。  
 イ、15mmを超える変形が生じないものであること。  
 ロ、塑性変形が生じないものであること。  
 (平成20年国土交通省示第1454号)
- 昇降路内に煙感知器を設ける場合は、点検口に安全スイッチ及び鍵を取り付けるなどの措置を行い、点検口が開いた時はエレベーターの動力を切り、動かないようにしなければなりません(平成20年 告示1454号第一号ニ)。詳しくはご相談ください。
- 温度(摂氏-5度~40度の範囲)、湿度(月平均90%以下、日平均95%以下)、特に結露、電磁波(電界強度10V/m以下)など一般的な環境においての対策を施して、設置されるように計画してください。

※ 詳細は、設計資料集及び施工図面をご覧ください。